

12月定例会の概要

令和5年12月定例会を次のとおり開催しました。

12月4日	本会議 (委員長報告、 議案上程(委員会付託))
12月7・8・11日	本会議(市政一般質問)
12月12日	本会議(市政一般質問、 追加議案上程(委員会付託))
12月13日	常任委員会 本会議(委員長報告)
12月14・15・18日	常任委員会
12月19日	特別委員会
12月21日	本会議(委員長報告等)

▶ 議決結果(詳細はP 8、10)

・市長提出議案	決算認定	15件
	原案可決	36件
	人事案件同意	2件
	諮問異議ない旨答申	1件
	専決処分の報告	5件

一般会計補正予算(第9・10・11号)を可決

<主な内容>

◆物価高騰対策に係るもの

- 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費
 - ・特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり7万円の給付金を支給
- 物価高騰対策学用品費臨時特別給付金
 - ・学齢期の児童生徒がいる世帯に対し、家計における学用品費を支援するための給付金を支給
小学生一人当たり5,500円
中学生一人当たり11,000円

◆施策の推進に係るもの

- 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金
 - ・皇帝パレード(特別版)の実施に当たり、来訪者の安全確保のための警備費等の増額

詳しくは、
ホームページでご覧になれます。



一般質問

質問した順番で掲載しています。
各議員名の下にあるQRコード*から質問の映像をご覧になれます。

今後とも早期発見・早期対応に努めるとともに、校内学級の支援センターの充実など不登校児童生徒の多様な学びの場の確保に努めていきたい。



問 本市における不登校児童生徒の現状や早期発見のための取組について伺いたい。

答 本市における調査では、令和4年度の不登校児童生徒数は小学校で358人、中学校で61人となっております。また、中学校では107人の生徒が相談などの支援を全く受けていないとの結果であった。早期発見の手だてとしては、各小中学校に対し、毎月、長期欠席等の調査を実施するとともに、連続して3日欠席した児童生徒については理由を問わず校内で不登校の要因がないか協議すること、連続して5日欠席した場合は家庭訪問を行うなど、早期対応を行うよう指導している。

不登校児童生徒への支援



自民創生
竹田 たけだ 雄亮 ゆうすけ



一方で、協議会については、幹線道路の整備促進を目的とする4つの協議会を設置し、一般国道499号などの路線の早期完成に向け、国や県などに要望活動を行っており、茂木バイパスを要望項目に取り上げるには新たな協議会の設置が必要と考えるため、進捗中の他の幹線道路の整備状況を踏まえながら、できるだけ早く設置できるように検討していきたい。



問 事業化には、整備効果を高めるための企業立地等の地域振興策と、幹線道路の整備促進に係る協議会からの要望が必要と考えるが、本市の見解を伺いたい。

答 同路線については、現在事業中の路線に続く候補路線として、市単独で長崎県長崎振興局に早期検討を要望している。また、地域振興策としては、企業立地等が考えられるが、現在、茂木地区を含む市内全域を対象に、企業立地用地として整備の可能性ある土地などの検討調査を行っている。

(仮称)茂木バイパスの早期事業着手



新出島クラブ
山口まさよし やまぐち



*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の
主な審査内容

令和4年度決算
議決結果

令和5年の
長崎市議会

議会の動き、
人事、陳情等